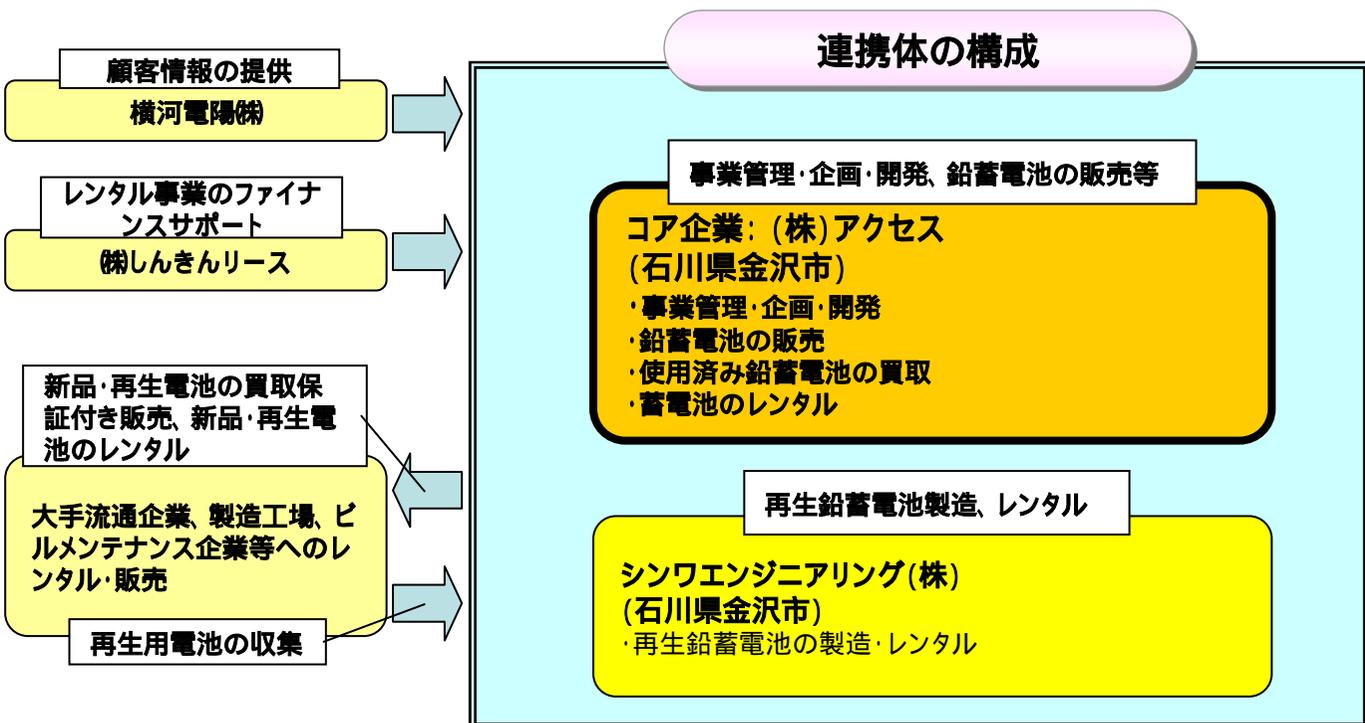


地域	石川県金沢市	認定日	平成20年2月14日	4 - 19 - 074
事業分類	製造(電気・情報機器)	テーマ分類	環境、リサイクル	

事業名: 制御弁式据置鉛蓄電池の循環型再生利用に資するレンタル・販売事業

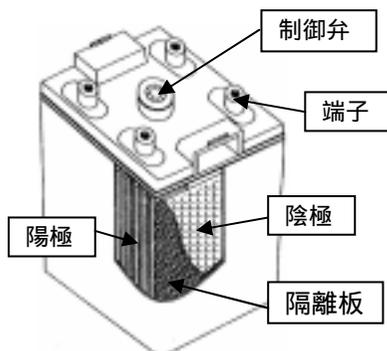
事業概要(新規性、市場性等)

- 従来から産業用蓄電池の中でも制御弁式据置鉛蓄電池(1)は、その構造故に再生が難しいため、ほとんどが廃棄物として処理されてきた。環境問題が叫ばれている折から、連携体企業の持つ高周波パルス電流処理技術(2)を利用して、制御弁式据置鉛蓄電池の再生事業に取り組むもの。
- 新品電池及び再生電池の買取り保証付き販売だけでなく、全く新しい定額制の電池のレンタルサービス事業“電源レンタル”により、顧客に多様なサービスを提供することが可能。



支援予定メニュー

補助金
低利融資



制御弁式据置鉛蓄電池構造概略図



非常用電源設置例

1 制御弁式据置鉛蓄電池: 電池内で発生したガスを内部吸収し、電解液が減らないよう密閉化した据置蓄電池。メンテナンスに手がかからず、安全性が高いという特長があり、現在据置型蓄電池で主流となっている形式。

2 高周波パルス電流処理: 鉛蓄電池は時間の経過等によりサルフェーション(硫酸鉛の結晶化現象)が発生することにより性能が低下する。そこで、劣化した電池の端子に電極を接続して高周波パルス電流を送り、結晶化した硫酸鉛を細粒化、除去するもの。

連携のきっかけ、特徴

- ・コア企業の(株)アクセスは、平成13年からユニコバッテリー社(韓国)の総代理店として、制御弁式据置鉛蓄電池の納入実績を積み上げてきた。同社は制御弁式鉛蓄電池を販売するに当たり、日本の鉛蓄電池メーカーが実施していない使用済み蓄電池の買取保障付き販売を行ってきた。
- ・有価物として買取を行うことで、リユース、リサイクルが可能となる。また、買取により廃棄物とみなされなくなるので、マニユフェスト処理や産業廃棄物処理費が不要になり、顧客のメリットにもつながった。
- ・しかしながら、電池の材料リサイクルには着手したものの、制御弁式据置鉛蓄電池は、その密閉構造故に、原料としてのリサイクルの他には、電池そのものの再生(リユース)は困難であった。
- ・一方、シンワエンジニアリング(株)は、平成17年より高周波パルス電流処理技術による制御弁式鉛蓄電池再生事業を行い、ノウハウを蓄積してきた。この技術は、蓄電池の端子に電極を接続し、高周波パルス電流を送ることにより、密閉した電池内部で発生したサルフェーション(硫酸鉛が極板に結晶化する現象)を細粒化することで除去し、能力を回復させるものである。
- ・そこで、両者が手を携え、(株)アクセスが収集した制御弁式据置鉛蓄電池を、シンワエンジニアリング(株)が持つ技術で再生することにより、再生(リユース)可能なものは、再生させることが可能になった。これらにより使用済み蓄電池の有効利用が図られ、循環型社会の構築に寄与するものである。

コア企業の会社概要

企業名・代表者	株式会社アクセス 代表取締役 熊谷亮二	
所在地	石川県金沢市弥勒町カ145-5	
創業	平成3年4月	
資本金・従業員数	1,000万円	14人
業種	防食・防水・ライニング材料の製造及び販売業、蓄電池輸入販売業	
T E L	076-258-7430	
F A X	076-258-7431	
ホームページ	http://www.access-orbit.co.jp	
e - m a i l		

PR等その他の情報

- ・コア企業の(株)アクセスの据置鉛蓄電池の納入実績として東京電力、関西電力、北陸電力 など多数
- ・別途、フォークリフト用蓄電池の新品、再生品販売も行っている。